

令和2年度 商業科

教科	商業	科目	簿記	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	商業338「簿記」(実教出版)						
副教材等	令和2年度版全商簿記実務検定模擬試験問題集3級(実教出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・企業会計に欠かせない「簿記」について学びます。
- ・簿記の知識と技術を身に付けるために、課題意識を持って積極的に授業に参加しましょう。
- ・実務的な能力を身に付けるために、全商簿記実務検定試験3級受験を目標にします。毎時の授業の復習を積み重ね、計画的な学習を実行してください。

2 学習の到達目標

取引の仕訳、勘定記入、決算など簿記に関する知識と技術を習得させ、簿記の基本的なしくみについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度が育まれることを目標とします。

3 学習評価(評価基準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	個人企業における簿記に関心をもち、その知識と技術の習得をめざして意欲的に取り組むとともに、企業において日常発生する取引について適正な会計処理を行う実践的な態度を身につけている。	いろいろな処理法や記帳法について、なぜ、そのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。また、適正な会計処理を行う能力を適切に表現できる。	個人企業における簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、いろいろな場面において適正な会計処理を行う。	個人企業における簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、簿記の基本的なしくみについて理解している。
評 価 方 法	授業の観察 提出課題の内容	定期考査 確認テスト 授業の観察	定期考査 確認テスト 授業の観察	定期考査 確認テスト 授業の観察
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	簿記の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記の基礎 ・資産・負債・純資産と貸借対照表 ・収益・費用と損益計算書 ・取引と勘定 ・仕訳と転記 ・仕訳帳と総勘定元帳 ・試算表 ・精算表 ・決算 	○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	<p>a: 簿記の意味・目的・歴史などの簿記の基礎的内容や資産・負債・純資産(資本)・収益・費用の意味および損益計算書・貸借対照表の作成、さらに簿記一巡の手続きに関心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。</p> <p>b: なぜ、簿記をつけるのか、なぜ、勘定を設けるのか、貸借が平均するのはなぜか、資本の増減を収益と費用に分けて記録するのはどうしてかなどについて、考えている。</p> <p>c: 仕訳帳および総勘定元帳の記入や損益計算書・貸借対照表などの作成に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。</p> <p>d: 簿記の意味・目的・歴史や資産・負債・純資産(資本)・収益・費用の意味および損益計算書・貸借対照表の作成、さらに簿記一巡の手続きに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、内容を理解している。</p>	定期考査 確認テスト 授業の観察 提出課題

2	取引の記帳	<ul style="list-style-type: none"> ・現金・預金などの取引 ・商品売買の取引 ・掛け取引 ・手形の取引 ・有価証券の取引 ・その他の債権・債務の取引 ・固定資産の取引 ・個人企業の資本の取引 ・販売費及び一般管理費と税金の取引 	○			○	<p>a: 商品売買取引など個人企業における基本的な取引の記帳は、どのように行うのかについて関心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。また、課題の提出などは、期日までに確実にを行い、理解できない内容については、自分で調べたり、積極的に質問したりする。</p> <p>b: なぜ、このように仕訳するのか、なぜ、補助簿はこのように記入するのか、補助簿の役割は何かなどについて、考えている。また、資本に関する取引について、資本が計算上の概念であるという点から取引の意味を考えている。</p> <p>さらに、経営活動を明瞭に表現することができる。</p> <p>c: 商品売買取引など個人企業における基本的な取引の仕訳、総勘定元帳への転記、各種補助簿の記入など、取引の記帳に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。</p> <p>d: 商品売買取引など個人企業における基本的な取引の構造を理解し、取引の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。また、各種補助簿の役割を理解し、簿記の目的の一つに財産管理があることを理解している。</p>	定期考査 確認テスト 授業の観察 提出課題
---	-------	---	---	--	--	---	--	--------------------------------

2	決算	<ul style="list-style-type: none"> ・決算整理 ・8桁精算表 ・帳簿決算と財務諸表の作成 			○	○	<p>a: 決算整理を伴う決算手続きは、どのように行うのかについて関心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。</p> <p>また、作成した財務諸表を見て企業の状況を把握しようとする。</p> <p>b: なぜ、決算整理を行うのか、なぜこのように整理仕訳を行うのかなどについて考えている。また、財務諸表を活用して企業の状況について判断している。</p> <p>さらに、決算結果を財務諸表に明瞭に表現できる。</p> <p>c: 決算整理を伴う決算を行うための基礎的・基本的な技術を身につけている。</p> <p>d: 決算手続きの意味を理解し、決算手続きに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。また、財務諸表の作成に関する基礎的・基本的な知識を有し、財務諸表の役割を理解している。</p>	定期考査 確認テスト 授業の観察 提出課題
---	----	--	--	--	---	---	--	--------------------------------

2	会計帳簿と帳簿組織	<ul style="list-style-type: none"> ・会計帳簿 ・伝票 			○ ○	○	<p>a: 帳簿の種類や帳簿全体の仕組み、さらに3伝票制に関心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。</p> <p>b: 一般的な分課制度を前提に、どのような帳簿が必要なのかについて考え、入金伝票・出金伝票・振替伝票の記入の違いについても考えている。</p> <p>c: 3伝票の起票・集計・元帳への転記に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。</p> <p>d: 帳簿と帳簿組織・3伝票に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。また、3伝票制による記帳の合理化を理解している。</p>	定期考査 確認テスト 授業の観察 提出課題
3	検定問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験模擬問題演習 ・検定試験過去問題演習 	○ ○			○ ○	<p>a: 問題演習に関心をもち、適正な会計処理を行うことをめざして主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 出題形式にとらわれず、仕訳、勘定記入、主要簿、補助簿、財務諸表作成をするうえで、適正な会計処理を行うことをめざして思考を深め、判断し表現している。</p> <p>c: 簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、その技術を適切に活用している。</p> <p>d: 簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、その基本的なしくみについて理解している。</p>	定期考査 授業の観察 提出課題

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。